Panasonic　出張修理

カラー玄関番スリム1型保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

※品番	
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間（但し構成機器を含む）
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電話（　）―
※販売店	住所・販売店名 電話（　）―

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地 TEL（059）228-1211

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

キリトリ線

生産終了品

この商品は生産終了につき製造することができません

Panasonic

取扱説明書

カラー玄関番スリム1型

品番 **WQD210W**

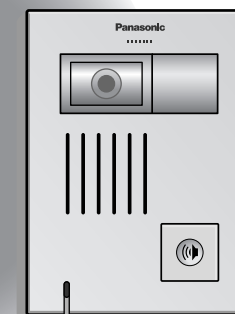
セット（1型親機（露出型）（録画機能付）、カラーカメラ付ドアホン子器のセット）

品番 **WQD230W**

セット（1型親機（露出型）（録画機能付）、カラーカメラ付ドアホン子器（露出型）のセット）

品番 **WQD211W**

親機（露出型）（録画機能付）

親機

子器

保証書付き

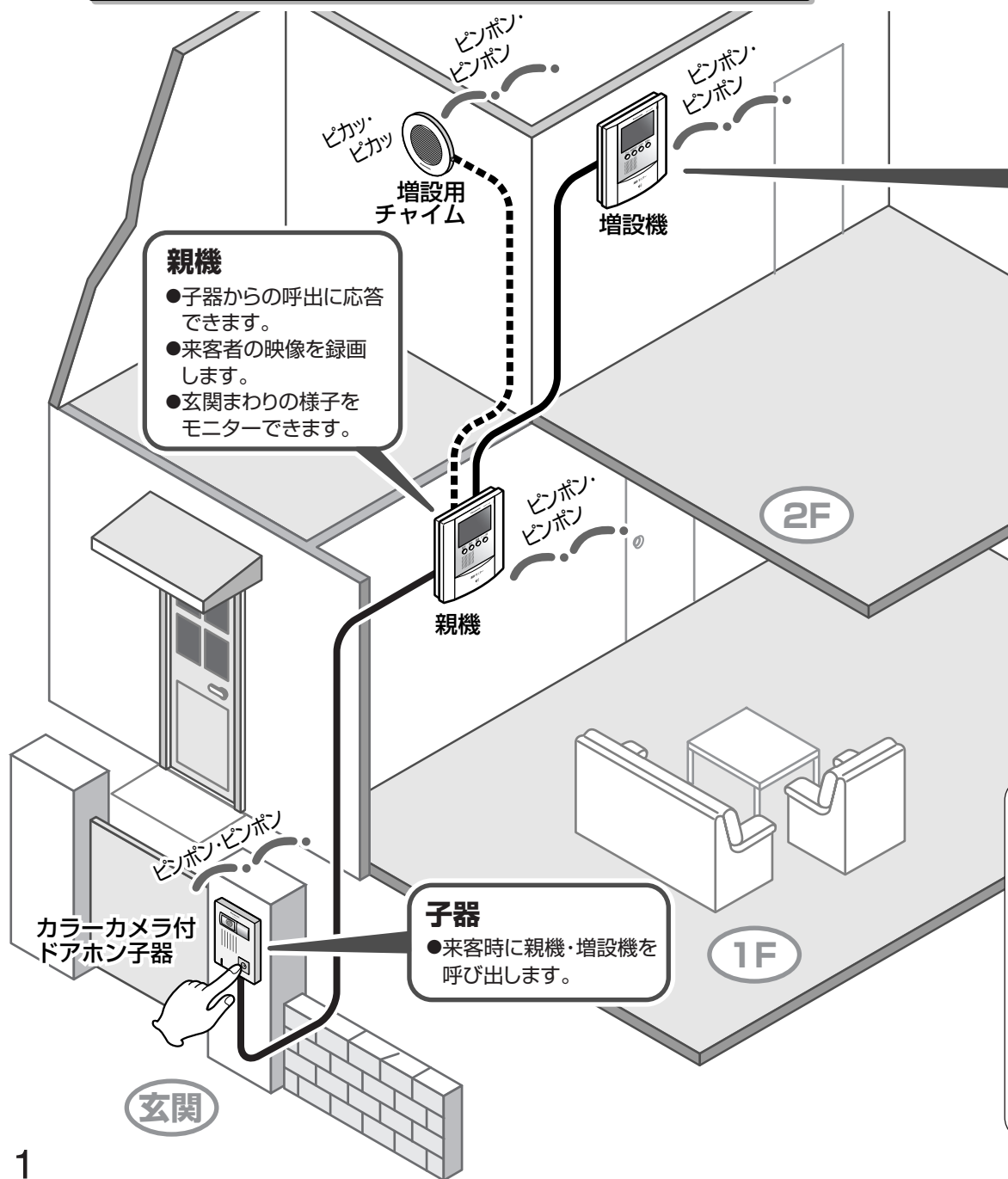
施工説明書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
  ご使用前に「安全上のご注意」（5ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

8A3 086 00006　K0507-50409A

●商品の特長とシステム例

この商品は戸建て住宅専用です。マンションなどの集合住宅には使用できません。

モニター増設機・通話増設機

●増設機には、モニター付きのモニター増設機と、モニター無しの通話増設機があります。

モニター増設機（別売）　通話増設機（別売）

●どちらも子器からの呼出に応答できます。
●モニター増設機は、玄関まわりの様子をモニターできます。
●親機と増設機の間で内線通話はできません。

システムアップでさらに便利に

●増設用チャイムを接続すると…
ほかの部屋に音や光で来客などをお知らせします。
●住宅用火災警報器やアラームユニットなどを接続すると…
異常発生時に親機や増設機、および子器でも警報をお知らせします。
住宅用火災警報器（連動型）（警報音・音声警報機能付）の場合は、警報器の警報音を玄関番で止めることができます。

●もくじ

必ずお読みください

●商品の特長とシステム例……1・2
●使ってみましょう！……3・4
●安全上のご注意……5
●使用上のご注意……6
●各部のなまえとはたらき……7～12
●時刻を設定する……13・14

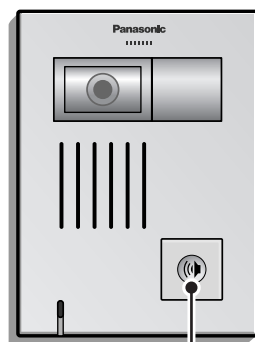
お使いになるときに

●玄関先と通話するには（子器との通話）…15～18
●子器の映像をズーム画像に切り替えたい場合……19・20
●玄関まわりの様子が知りたいとき……21
●ご家族が帰宅されたとき（帰宅通知）……22
●留守中の来客を録画するには……23・24
●在宅時に録画するには……25
●録画内容を再生するには……26
●録画内容を保存・消去するには……27
●住宅用火災警報器（連動型）が動作すると……29・30
●住宅用火災警報器（連動型）の警報音を玄関番で止めるには……31・32
●アラームユニットなどが動作すると…33・34
（非常用押釦、ガスもれ警報器、または移報接点付の住宅用火災警報器が動作した場合）
●連絡（コール）用押釦が押されると…35・36
●情報ランプが点滅しているときは…37・38

必要なときに

●メニュー設定について……39～46
●故障かな?と思われたら（異常時の点検）…47～49
●仕　様……50・51
●保証とアフターサービス……52

●使ってみましょう!

玄関先の子器で

1 を押す

2 相手が応答したら通話する

メモ

室内の増設機で

●増設機でも親機と同様に操作できます。
ただし、通話増設機はモニター画面がないため、映像は映し出せません。

注 親機と増設機の間で内線通話はできません。

室内の親機で

「ピンポン・ピンポン」が鳴ったら…

1 お客様が映る（映像が出る）

2 通話・モニター を押す

3 お客様と通話する

4 終わったら 通話・モニター を押す

玄関まわりの様子を確認する

1 通話・モニター を押す

2 映像を確認する

※30秒経過すると自動的に消えます。

●安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■**誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を区分して、説明しています。**

⚠警告	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■**お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)**

	してはいけない内容です。		実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解禁止	**絶対に分解したり、修理・改造しない。** 感電の原因となります。
必ず守る	**万一、異常が発生したら電源スイッチを切る。** 切らないと、発熱・発火の原因となります。

⚠警告

禁止	**液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない。** 液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となります。
接触禁止	**液晶パネルが割れた場合、液晶パネル内部の液体には絶対に触らない。** 皮膚の炎症などの原因となります。万一、口に入った場合はすぐにうがいをして医師と相談してください。目に入ったり皮膚に付着した場合は、清浄な水で最低15分以上洗浄した後、医師と相談してください。

●使用上のご注意

■停電のとき

●この商品は、予備電源(バッテリー)を内蔵していませんので停電の場合は動作しません。

■映像に関するご注意

●夜間など周囲が暗くなっても、子器内蔵の赤外線照明により撮像し、子器から50cm以内の来客などを映し出しますが、周囲が常に暗い場所では、ほぼ白黒映像になります。(赤外線照明の照射距離が約50cmのため、それ以上離れている背景などは映し出せません。)周囲が常に暗い場所では蛍光灯などの補助照明を設置してください。

●子器は夜間、被写体を見えやすくするために感度を上げています。そのため、背景の暗い部分にノイズが見えやすくなることがありますが、故障ではありません。

●子器に直射日光や強い照明の光などが入ると、親機・モニター増設機の画面に縦の白線や黒点が生じて映像が白くなったり、太陽光や照明の光による反射模様が発生することがありますが、故障ではありません。(右図)使用上問題がある場合は、子器の取付場所を変更してください。

白線

●しま模様や細かい模様を映し出した場合、実際の人物や背景とは輪郭が異なったり、実際にない色を映し出すことがありますが、故障ではありません。

●モニター画面に使用している液晶には、画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますが、故障ではありません。

●近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがあると、映像や音声が乱れる場合がありますが故障ではありません。

●電気ノイズや静電気、および製品の故障、または使用誤りや使用中に電源が切れたときなど、録画データが破損または消失することがあります。破損または消失したデータの損害については、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

水をかけないで!
故障の原因となります。

ストーブなど高温の物を近づけないで!
故障の原因となります。

炊飯器など湯気の出る物を下に置かないで!
故障の原因となります。

テレビ・ラジオなどは2m以上離して!
映像や音声が乱れる場合があります。

お手入れ

ふだんのおそうじは…
やわらかい布でふき取ってください。

汚れが目立つときは…
中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、固く絞ってふき取ってください。噴霧式の洗剤は使用しないでください。

注 ベンジンなどは引火性があるため、使用しないでください。

●各部のなまえとはたらき

●各部のなまえとはたらき（つづき）

増設機　カラー玄関番スリム1型　モニター増設機（露出型）

品番 WQD206W

注 モニター増設機では、録画画像を再生できません。

メモ

●この取扱説明書では、モニター増設機または通話増設機のことを「増設機」と表記します。

●他の機器で操作している間は、操作できません。操作すると、「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。
（親機にて録画画面再生中を除く）

警報停止ボタン

警報時の警報音を止めるときに押します。

通話用マイク

モニター画面

警報ランプ

別売の住宅用火災警報器などを接続している場合、警報や異常発生時に赤色点滅します。
（29～34ページ参照）

注 通常時、警報ランプは表示されません。

ズームボタン

映像が映し出されているときに押すと、画面表示をズーム画像に切り替えることができます。

お引取りボタン

通話を終了するキッカケとなる「プルプル」音を鳴らすときに押します。
（18ページ参照）

呼出音量切替・明るさ切替ボタン

●呼出音を3段階（大→小→中→大…）で切り替えることができます。（出荷時：大）

●映像が映し出されているときに押すと、モニター画面の明るさを7段階（明るさ1（暗）→明るさ2…明るさ7（明）→明るさ1…）で切り替えることができます。（出荷時：明るさ4）

注 ●警報音量と通話音量の切替、および増設用チャイムの音量調節はできません。
●呼出音量を切り替えると、設定した音量で「ピンポン」音が鳴ります。
●連絡（コール）用押釦が押されたときの呼出音「プップップー」音も同時に切り替わります。

スピーカー

通話・モニターボタン

通話するときに押します。または玄関まわりの様子を確認するときに押します。

電源スイッチ

出荷時：「入」側

通話中ランプ

子器から呼び出されたときに赤色点滅し、子器と通話中に赤色点灯します。

増設機 カラー玄関番スリム1型　通話増設機（露出型）

品番 WQD207W

警報ランプ

別売の住宅用火災警報器などを接続している場合、警報や異常発生時に赤色点滅します。（29～34ページ参照）

注 通常時、警報ランプは表示されません。

通話用マイク

スピーカー

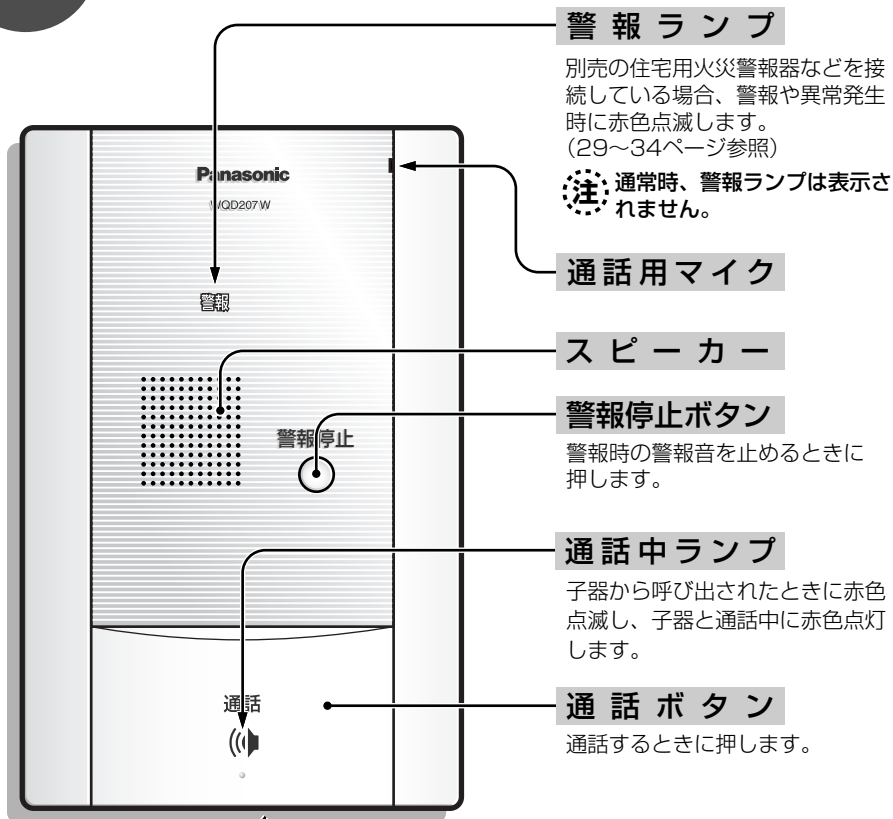
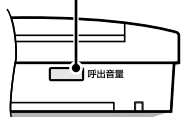
警報停止ボタン

警報時の警報音を止めるときに押します。

通話中ランプ

子器から呼び出されたときに赤色点滅し、子器と通話中に赤色点灯します。

通話ボタン

通話するときに押します。

呼出音量切替ボタン

押すごとに呼出音を3段階(大→小→中→大…)で切り替えます。(出荷時：大)

注
- ●警報音量と通話音量の切替はできません。
- ●切り替えると、設定した音量で「ピンポン」音が鳴ります。
- ●連絡(コール)用押釦が押されたときの呼出音「プップップー」音も同時に切り替わります。

メモ

- ●この取扱説明書では、モニター増設機または通話増設機のことを「増設機」と表記します。
- ●他の機器で操作している間は、操作できません。操作すると、「ピピピッ」とエラー音が鳴ります。(親機にて録画画面再生中を除く)

子器 カラーカメラ付ドアホン子器

(広角)(露出薄型)(警報表示付)(カラー玄関番1型セット専用品)(グレイッシュブラウン)

品番 WQD001A

注 FFシリーズ、露出薄型および露出型のカメラ付ドアホン子器も使用できます。

セット品番WQD210Wに同梱の子器

カメラ部

スピーカー

位置表示灯

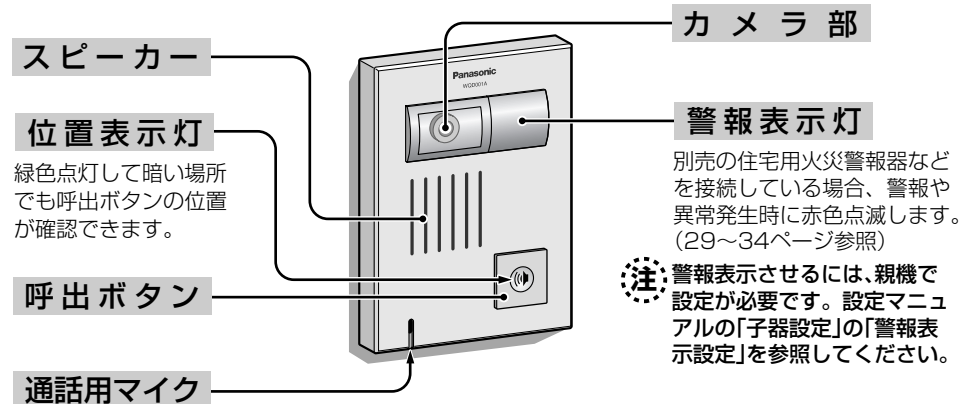
緑色点灯して暗い場所でも呼出ボタンの位置が確認できます。

警報表示灯

別売の住宅用火災警報器などを接続している場合、警報や異常発生時に赤色点滅します。（29～34ページ参照）

注 警報表示させるには、親機で設定が必要です。設定マニュアルの「子器設定」の「警報表示設定」を参照してください。

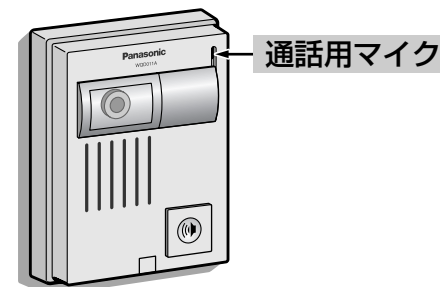
呼出ボタン

通話用マイク

カラーカメラ付ドアホン子器

(広角)(露出型)(警報表示付)(カラー玄関番1型セット専用品)(グレイッシュブラウン)

品番 WQD011A

セット品番WQD230Wに同梱の子器

(各部のなまえとはたらきは上記と同じです。)

子器に関するご注意

- ●外気温が急激にさがった場合(降雨後など)、子器のカメラ部がくもり、映像がぼやけることがありますが、故障ではありません。しばらく放置すると正常に戻ります。
- ●子器は防雨構造になっていますが、ホースなどで故意に水をかけないでください。
- ●冬期、子器の表面が凍結すると、映像が見えにくくなったり、呼出ボタンが動かないことがありますが、故障ではありません。
- ●カメラ部の汚れがひどいときは、コップなどで少量の水を数回ゆっくりかけて砂ぼこりなどを洗い流した後、柔らかい布で軽くふいてください。強くこすって傷がつくと、映像が見えにくくなる場合がありますので注意してください。

●時刻を設定する 〔ご使用前に必要です〕

●ご使用前に必ず日付時刻設定を行ってください。
（未設定時は、映像表示時などに画面下に「時刻設定してください」と表示されます。）

注 ●時刻を設定しないと、再生時にいつの録画データなのかわからなくなります。
●1時間以上停電があった場合には時刻設定は消える可能性があります。
その場合は再度設定してください。

親機

1 メニュー・情報 ◯（親機）を押す

●メニュー画面が表示されます。

注 メニュー・情報ボタンを3秒以上押し続けないでください。3秒以上長押しすると、「施工設定」画面が表示されます。正常に動作しなくなるおそれがありますので、施工設定は変更しないでください。

2 ▲ を押す

●メニュー2／2の「6.時刻設定」を選択します。

3 確定 を押す

●時刻設定画面が表示されます。

4 ▼ ▲ を使って「西暦」を選んで 確定 を押す

●「月」の設定に移ります。

5 手順4と同様に「月」→「日」→「時」→「分」を設定し、確定する

●「分」まで設定すると設定した日付と時刻表示だけになり、約5秒後、メニュー画面に変わります。

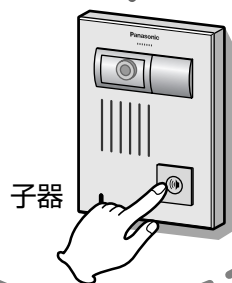
6 終了 を押す

●画面が消えます。

●玄関先と通話するには 〔子器との通話〕

親機・増設機で応答する

お客様が来られたら

通話中ランプ：赤色点滅

1 お客様が映る（映像が出る）

●このとき自動的にお客様を録画します。（静止画8枚）
（録画中は 録画中 が表示されます。）

●呼出音が鳴り始めてから応答せずに約30秒経過すると、呼出を終了します。

●夜間など周囲が暗くなっても、子器内蔵の赤外線照明により子器から50cm以内の来客などを撮像できます。（周囲が常に暗い場所では、ほぼ白黒映像になります。）

メモ

●親機・増設機から50cm以内の距離で通話してください。離れすぎると音声が聞き取りにくくなることがあります。
●親機・増設機と子器のまわりの音が大きく騒がしいとき（赤ちゃんの泣き声、犬の鳴き声、ステレオの音響など）は、音声がとぎれて聞き取りにくくなることがあります。
●親機・増設機と子器で通話するときは相手の話が終わらないうちに話すと、声がとぎれて聞き取りにくくなることがあります。話がいったん終わったところで話すとスムーズな会話ができます。
●携帯電話やPHS電話を使用中に親機・増設機・子器に近づけると、映像や音声が乱れる場合がありますが、故障ではありません。
●子器から呼出があっても、通話・モニターボタンを押さなければ通話はできません。
●留守設定時は留守ランプが赤色点灯または赤色点滅（録画あり）し続けます。
☞23・24ページ参照
●警報発生中は子器からの呼出ができません。また通話中に警報が発生すると、通話は終了します。
●通話開始から1分が経過し、会話の途中で通話が切れた場合は、10秒以内に通話・モニターボタンを押せば子器と通話できます。
●通話終了時、通話・モニターボタンを押し忘れても、通話開始から約1分後、自動的に終了します。
●呼出音量は変更できます。☞10・11・41ページ参照

注 ●通話増設機でも同様に操作できます。ただし、子器の映像は映し出せません。
●モニター増設機の場合は、画面に文字は表示されません。
●子器にWQD802Aを使用している場合は、ズーム は表示されません。

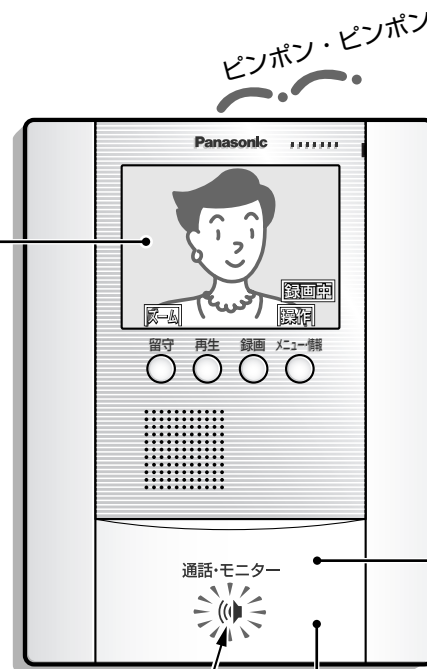
増設用チャイムをご使用の場合

報知用 光るチャイム

ピカッ・ピカッ（フラッシュランプ点滅）

ピンポン・ピンポン

●親機と同時に呼出音が鳴ります。

注 オートストップ機能がない乾電池式チャイムを使用している場合は、通話応答しないと、約30秒間チャイムが鳴り続けます。その場合は電池寿命が短くなります。

通話中ランプ：赤色点灯

2 通話・モニター を押す（応答する）

●「ピッ」音確認後、通話してください。
●約1分間通話できます。
● 録画中 が消えて、録画 になります。（録画は中断されます。）
録画 を押して、通話中の映像を録画することもできます。
☞25ページ参照

通話中ランプ：消灯

3 通話・モニター を押す（終了する）

●「ピッ」音が鳴り、終了します。

注 1秒以上押すと、通話状態を継続し、通話を終了できません。通話中ランプが点灯している間は、子器に室内からの音が漏れますので、必ず通話中ランプが消灯したことを確認してください。

●子器側の騒音が大きく、室内の声が伝わらない場合は ☞17ページ
●お客様の顔がモニター画面で確認しにくい場合は ☞17・19・20ページ

子器側の騒音が大きく、室内の声が伝わらない場合は…

図は親機の場合

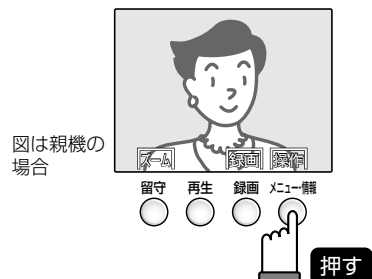
1 通話・モニター を押しながら通話する

●室内の声が強制的に子器側に伝わり、子器側からの音声や騒音は室内機側には聞こえなくなります。

2 通話後、手をはなす

●約5秒間は通話中ランプが点滅し、強制的に子器側の音声が聞こえます。
●その後、室内機・子器とも相互に通話できます。

画面の明るさを調整したいとき

●モニター増設機の場合は、呼出音量切替・明るさ切替ボタンを押してください。（手順**2**参照）

図は親機の場合

1 映像を表示しているときに 操作（親機）を押す

2 明るさ を押す

●押すごとに明るさが変化します。（出荷時：明るさ4）

明るさ4 → 明るさ7（最も明るい） → 明るさ1（最も暗い） → 明るさ4

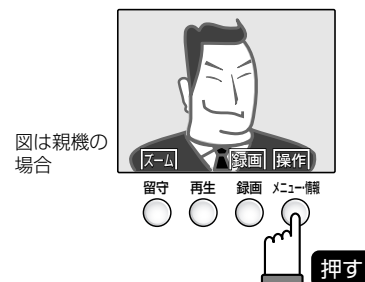
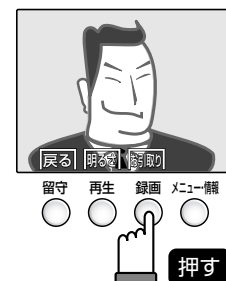
● 戻る を押すと元画面に戻ります。

通話を中断して、会話を終わらせたい場合は「お引き取り機能」で

●しつこい勧誘などの際、「プルプル」音を鳴らして、会話を終わるキッカケを作ります。（親機・モニター増設機）
●モニター増設機の場合は、お引取りボタンを押してください。（手順**2**参照）

注 **鳴動中は室内からの音声は子器側に伝わりますが、子器からの音声は聞こえません。**

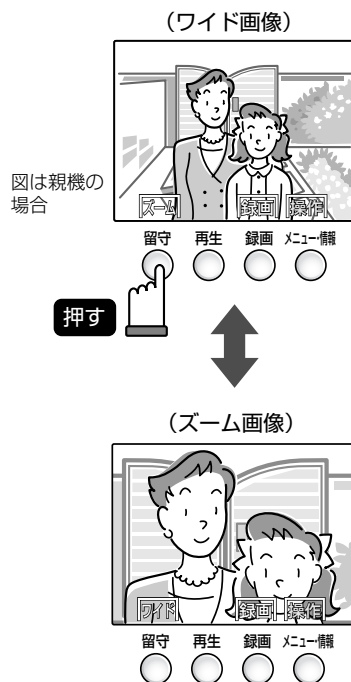
図は親機の場合

1 通話中に 操作（親機）を押す

2 お引取り を押す

●1回押すと「プルプル」音が3回鳴ります。押している間は「プルプル」音が鳴り続けます。
●子器側にも「プルプル」音が聞こえます。
● 戻る を押すと元画面に戻ります。

3 「プルプル」音をキッカケにして 通話・モニター を押す（終了する）

子器の映像をズーム画像に切り替えたい場合

注 子器にWQD802Aを使用している場合は、ズーム機能は使用できません。（ズーム は表示されません。）

（ワイド画像）

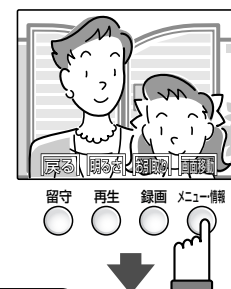
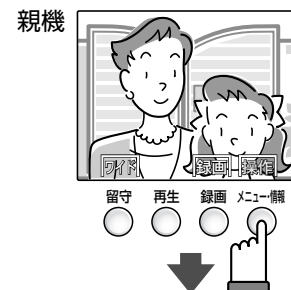
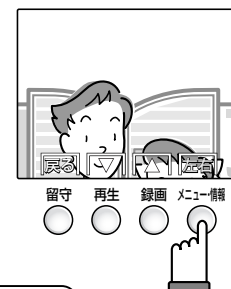
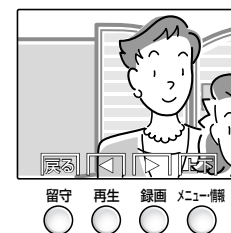
（ズーム画像）

1 映像を表示しているときに ズーム（親機）を押す

- 映像を映し出したときは、ワイド画像で表示されます。（初期状態）
- 押すごとにズーム画像（デジタル2倍ズーム）とワイド画像を切り替えます。
- ズーム画像になると ズーム が ワイド に変わります。
- モニター増設機の ズーム を押しても同じように操作できます。

メモ

- 人物が画面の中心に映らないときなどに、ズーム画像を映し出した際の表示位置を変更することができます。☞45ページ参照
- 親機で操作すると、モニター増設機の画面も切り替わります。同様にモニター増設機で操作したときは親機の画面も切り替わります。
- 親機の操作中は、モニター増設機では操作できません。同様にモニター増設機の操作中は、親機では操作できません。
- 映像を映し出したときに、最初からズーム画像で表示するよう設定することができます。☞43ページ参照
- ズーム画像を録画した場合は、ズームされた画面が録画されます。
- 右ページにしたがってズーム画像の位置を変更しても、変更した位置は記憶されません。

ズーム画像を上下左右に移動したいとき

- ズーム画像のまま、映し出す位置を移動することができます。

1 ズーム画像を表示しているときに 操作（親機）を押す

2 画面移動 を押す

- 移動操作画面に変わります。

3 左右 を押すと、上下移動画面と左右移動画面が切り替わる

- 移動させたい方向を選んでください。
- 左右移動画面になると 左右 が 上下 に変わります。

4 ▼ ▲（上下移動画面） ◀ ▶（左右移動画面）で画面を移動させる

- 戻る を押すと手順 2 の画面に戻ります。

●玄関まわりの様子が知りたいとき

●子器が設置されている玄関まわりの様子を映像と音で確認できます。

図は親機の場合

1 **映像が消えているときに**

[通話・モニター] を押す

2 **約30秒経過すると、映像は消える**

●30秒以内に映像を消したい場合は、通話・モニターボタンを押してください。

●モニター中の子器との通話

通話・モニターボタンを約2秒間押し続けると、玄関先の人と通話することができます。(通話中ランプが赤色点灯します。)

メモ

●室内の音は玄関先には聞こえません。(通話中ランプは消灯しています。)
●映像がはっきりと映し出されるまで約1秒ほどかかります。
●夜間など周囲が暗くなっても、子器内蔵の赤外線照明により子器から50cm以内の玄関まわりの様子を撮像できます。
(周囲が常に暗い場所では、ほぼ白黒映像になります。)
●通話増設機から子器を呼び出すには、通話ボタンを押してください。
(通話中ランプが赤色点灯し、通話できます。)

●ご家族が帰宅されたとき 〔帰宅通知〕

●帰宅時に、呼出音「ピンポン」の後に「ポーン」音を鳴らして、ご家族の帰宅などを知らせることができます。(来客の呼出と区別できます。)

注 警報発生中は子器から帰宅通知はできません。

1 **呼出音が鳴り終わるまで [◉] を押す(5秒間)**

2 **鳴り終わってから約2秒後に [◉] をはなす**

●帰宅通知を知らせる「ポーン」音が鳴ります。
●「ポーン」音が鳴り終わってから約10秒間は、子器からのみ通話できます。
●約10秒経過すると、呼出状態に変わります。

帰宅通知の呼びかけに応答する場合は…

図は親機の場合

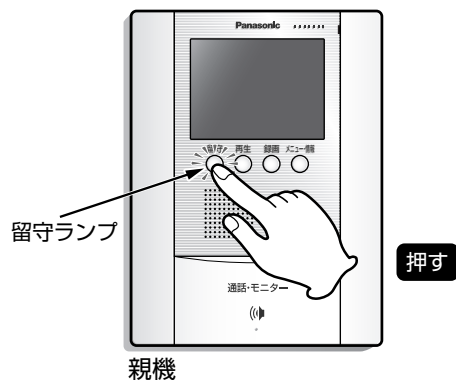
1 **[通話・モニター] を押す**

●子器と通話できます。
(通話中ランプ赤色点灯)
●通話を終了する場合は、通話・モニターボタンを押してください。

メモ

●子器から「ポーン」音が鳴らない場合は通常の呼出状態となり帰宅通知はできません。帰宅通知機能は初回操作時のみ有効ですので、一度呼出状態になると呼出状態が終了するまで帰宅通知はできません。
●親機や増設機で応答しない場合、子器の呼出ボタンを押してから約30秒経過すると、呼出状態を終了します。

●留守中の来客を録画するには

●外出の際に留守設定しておくと、留守中の来客時の映像を録画できます。

1 **外出するときに**

留守
◯（親機）を押す（留守設定）

●留守ランプが赤色点灯します。

2 **留守中に お客様が来られたら**

●自動的に録画されます。（静止画8枚）

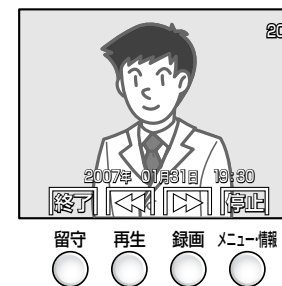
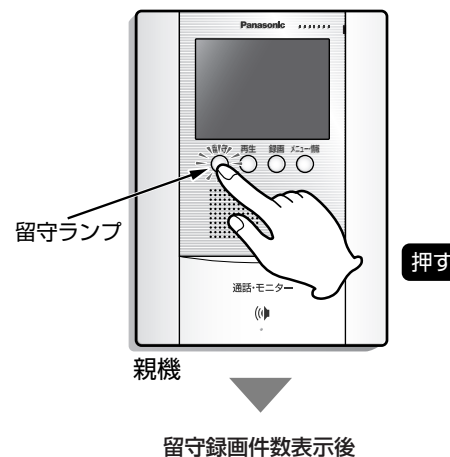
●増設用チャイムからも呼出音が鳴ります。

注 **オートストップ機能がない乾電池式チャイムを使用している場合、通話応答しないと、約30秒間チャイムが鳴り続けます。その場合は電池寿命が短くなります。**

■録画できる件数

●1件につき、8枚（1秒ごとに1枚）静止画を録画します。
●50件まで録画できます。

留守録画件数表示後

留守　再生　録画　メニュー・情報

●再生画面について 26ページ参照

3 **帰宅したら**

留守
◯（親機）を押す

〈留守ランプ赤色点滅：録画ありのとき〉

●お客様が来られた順（古い順）に録画内容が再生されます。
●すべての再生が終わるか、終了を押すと、留守設定が解除されます。（留守ランプが消灯します。）

〈留守ランプ赤色点灯：録画なしのとき〉

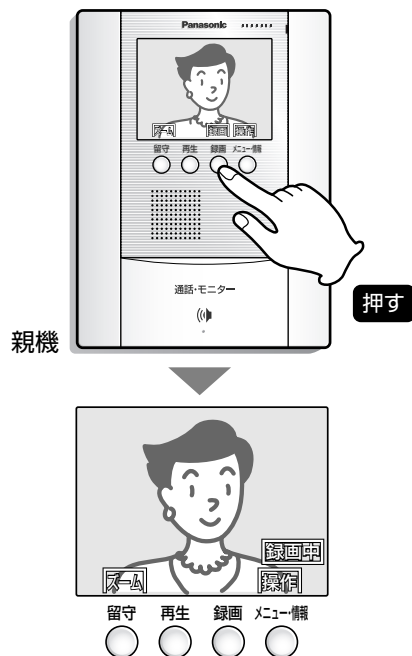
●留守設定が解除されます。（留守ランプが消灯します。）

メモ

●1回の留守設定で録画できる件数は50件です。留守設定を解除して録画内容を自動再生すると、前に録画した画面は上書きされます。また、次に留守設定した際も50件録画できます。
●留守設定時は50件（録画可能件数）を超えると、「録画できません 留守設定を解除してください」と表示されます。それ以降の録画はできません。
●不要なデータの消去について ☞27・44ページ参照
●留守ランプは留守設定を解除するまで赤色点灯し続けます。あるいは録画内容を再生するまで赤色点滅し続けます。

●在宅時に録画するには

●子器との応対中や映像モニター中に残したい映像を手動で録画することもできます。

注 在宅時の録画は50件(録画可能件数)を超えると上書きされます。
保存が必要な画像は保存操作をしてください。☞ 27ページ参照

1 通話中や映像モニター中に

録画 ◯(親機)を押す

●録画が始まると、録画中 が表示されます。
●録画が終了すると、録画中 が消えます。

■録画できる件数

●1件につき、8枚(1秒ごとに1枚)静止画を録画します。
●50件まで録画できます。

メモ

●子器からの呼出時の映像は自動録画されます。☞ 15・16ページ参照
●在宅時は50件(録画可能件数)を超えると、一番古い画像を自動消去し、新しい画像が録画されます。(上書き)

●消したくない画像は1件単位で保存できます。☞ 27ページ参照

●録画内容を再生するには

●留守設定をしていないときに録画内容を再生する操作です。

注 留守ランプ赤色点灯時は、まず留守ボタンを押して留守設定を解除してから以下の操作を行ってください。

1 再生 ◯(親機)を押す

留守ランプ消灯時

●最も新しい録画内容が1件再生されます。

留守ランプ点滅時

●留守中の録画内容の自動再生となります。
●古い件数から順番に再生されます。
●留守中に録画した画像をすべて再生すると、自動終了します。(留守ランプが赤色点灯します。)

●再生中の画面について(親機)

注 モニター増設機では録画画像を再生できません。

注
一番最新の件数を再生している場合は、[◀◀]を押すと、1つ前の録画画像を再生し、[▶▶]を押すと、最も古い録画画像を再生します。

●録画内容を保存･消去するには

●在宅時、録画できる件数がいっぱいになると上書きされたり、留守録画ができなくなります。必要なデータは保存し、不要なデータを消去しておきましょう。

注 「保存」とは録画したデータを消去しないように保護することです。

1 **再生操作を行い(☞26ページ参照)保存または消去したい画像再生中に停止(親機)を押す**

2 **保存するとき**
保存を押す

●保存されると保存マーク が表示されます。
●もう一度押すと保存が解除されます。

■保存できる件数

●8件まで保存できます。

2 **消去するとき**
消去を押す

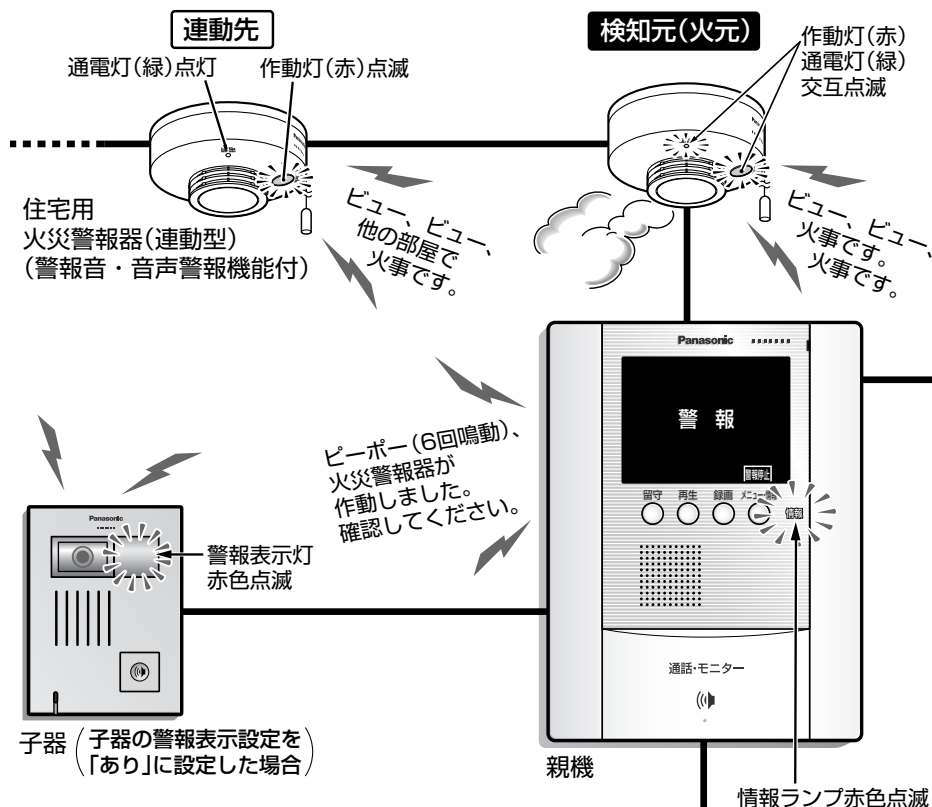
●「この録画画像(1件)を消去しますか？」が表示され、「はい」を押すと消去されます。
●保存されているデータは消去できません。保存を押して保存を解除してから消去してください。

メモ

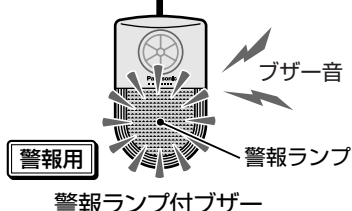
●全画像を一度に消去することもできます。☞44ページ参照

MEMO

●住宅用火災警報器(連動型)が動作すると

●住宅用火災警報器が動作した場合に、玄関番からも警報をお知らせすることができます。
●移報接点付の住宅用火災警報器を接続している場合は警報音が異なります。
33・34ページ参照

増設用チャイムをご使用の場合

注 警報ランプ付ブザーは警報ランプ付ブザーの「音時間・光時間」設定にしたがって動作します。ただし、「連続」に設定すると、約2分でブザー音と警報ランプの点滅は停止します。
光るチャイムは鳴動音・フラッシュランプとも最大約2分で停止します。メロディサインは鳴動音が最大約2分で停止します。

警報用
ブザー音
警報ランプ
警報ランプ付ブザー

1 住宅用火災警報器が動作すると

2 親機・増設機などで警報をお知らせ

●警報音が鳴り、情報ランプ(親機)または警報ランプ(増設機)が赤色点滅します。
●警報音の止め方 31ページ

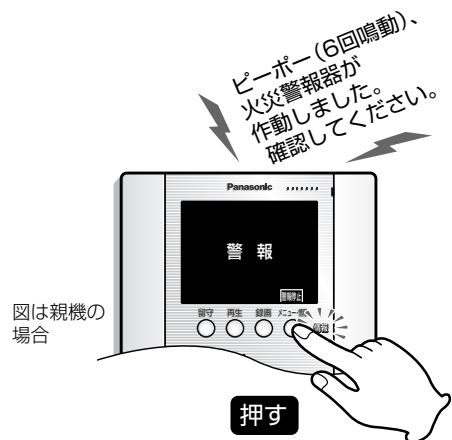
注

異常が復旧するまで警報音は鳴り続け、情報ランプ(親機)または警報ランプ(増設機)も点滅し続けますが、画面の「警報」表示は最大約2分で消えます。画面表示が消えた後に玄関番を操作すると、再度、画面に「警報」が表示されます。また、子器の警報表示灯は異常が復旧するまで点滅し続けますが、子器の警報音は最大約2分で停止します。
(ただし、モニター増設機または通話増設機の警報停止ボタンを押すと、親機、モニター増設機に「火元の警報停止」画面が表示され、メッセージが流れます。
31ページ参照)

メモ

●住宅用火災警報器の警報が復旧すると、親機・増設機・子器の警報音と情報ランプ、警報ランプ、および警報表示灯の点滅は止まります。
●警報音鳴動中は呼出および通話はできません。
●子器から警報表示させるには、親機で設定が必要です。出荷時の設定条件では、住宅用火災警報器が動作しても子器は警報表示しません。
表示させるには設定マニュアルを参照するか、施工店に連絡してください。

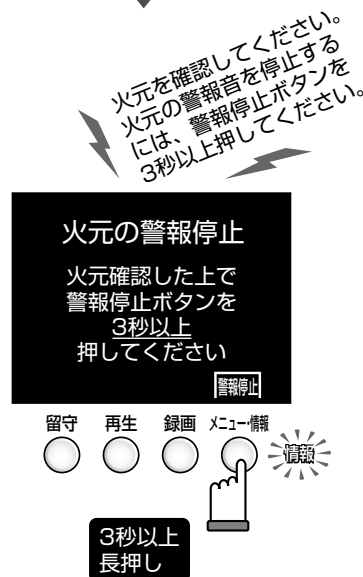
●住宅用火災警報器(連動型)の警報音を玄関番で止めるには

●住宅用火災警報器(連動型)(警報音・音声警報機能付)を使用している場合、玄関番から警報音を止めることができます。

1 警報音鳴動中に 警報停止 を押す

●検知元(火元)以外の警報器の警報音が止まります。
●親機・増設機、子器(警報表示：あり設定時)、および警報ランプ付ブザーの警報音も止まります。
●増設機の 警報停止 を押しても止まります。

2 火元を確認して適切な処置を行う

3 検知元(火元)の警報器の警報音を止めるには 警報停止 を3秒以上押す

●情報ランプ(親機)または警報ランプ(増設機)は消灯し画面も消えます。
●子器(警報表示：あり設定時)の警報表示灯も消灯します。
●増設機の 警報停止 を3秒以上長押ししても止まります。

注 手順 3 で警報停止ボタンを押さなかった場合は、約10秒後に画面は消えますが、情報ランプ(親機)または警報ランプ(増設機)は点滅し続けます。ただし、画面が消えた後にメニュー・情報ボタンを押すと、再度、「火元の警報停止」画面が表示され、メッセージが流れます。

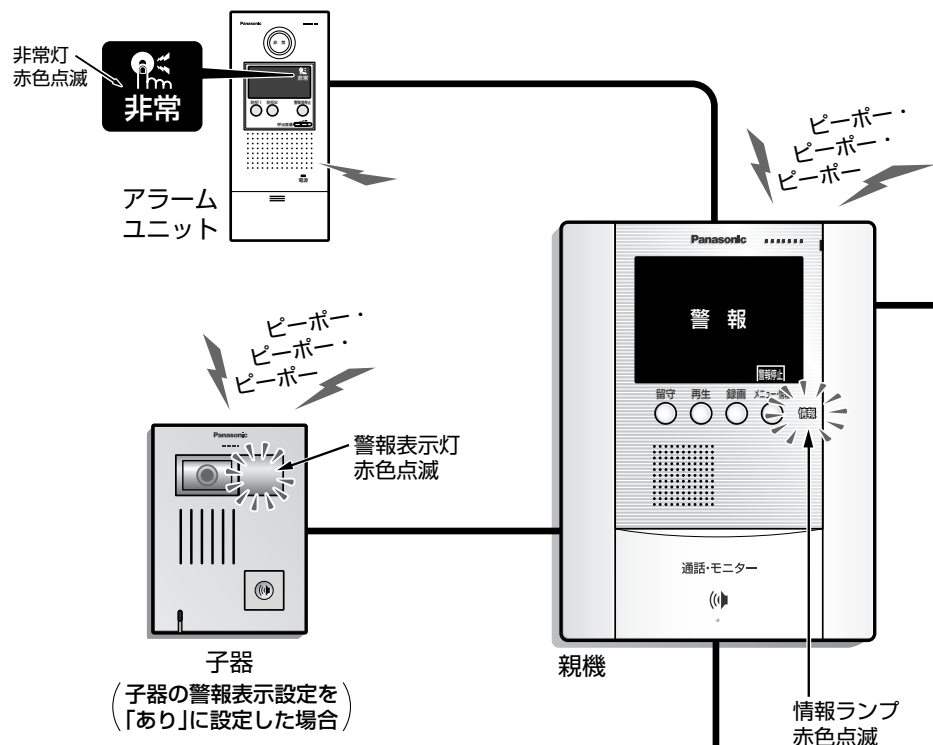
メモ

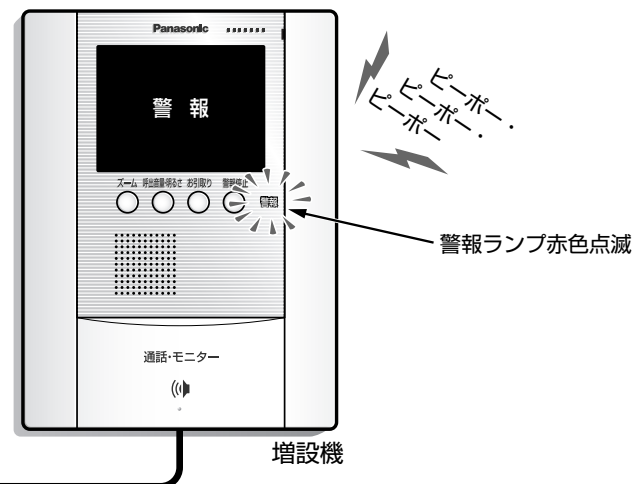
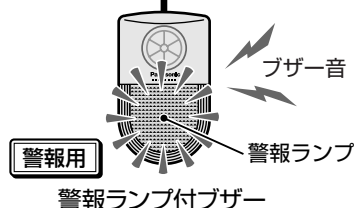
●移報接点付の住宅用火災警報器を使用している場合は、玄関番から住宅用火災警報器の警報音を止めることはできません。
●警報器側で警報音を停止させる操作を行った場合、親機・増設機、子器、および警報ランプ付ブザーの警報音も止まります。
●住宅用火災警報器(連動型)(警報音・音声警報機能付)を使用している場合は、玄関番側で警報器の故障や警報器の点検時期をお知らせできます。
(移報接点付の住宅用火災警報器を使用している場合はお知らせできません。)
親機の情報ランプ点滅時にメニュー・情報ボタンを押すと、下記のような画面を表示します。

●操作方法について
☞37・38ページ参照

●アラームユニットなどが動作すると

アラームユニットなどが接続されている場合のみ（施工設定が必要）

●アラームユニットが動作した場合に、玄関番からも警報をお知らせすることができます。
●アラームユニットの代わりに非常用押釦、移報接点付のガスもれ警報器、または移報接点付の住宅用火災警報器をいずれか1台接続できます。その場合でも親機・増設機・子器の動作は、アラームユニットの場合と同じです。

増設用チャイムをご使用の場合

注 警報ランプ付ブザーは警報ランプ付ブザーの「音時間・光時間」設定にしたがって動作します。ただし、「連続」に設定すると、約2分でブザー音と警報ランプの点滅は停止します。
光るチャイムは鳴動音・フラッシュランプとも最大約2分で停止します。メロディサインは鳴動音が最大約2分で停止します。

1 アラームユニットなどが動作すると

2 親機・増設機などで警報をお知らせ

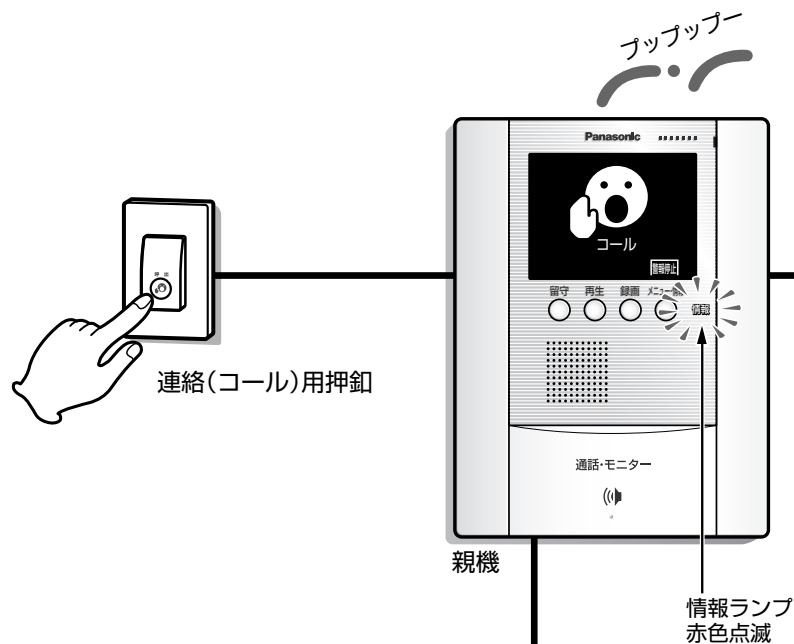
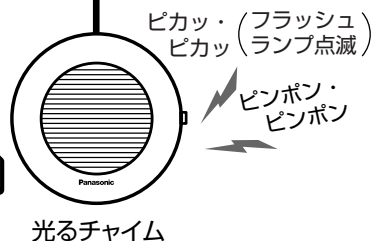
●警報音が鳴り、情報ランプ（親機）または警報ランプ（増設機）が赤色点滅します。
● 警報停止 を押すと警報音が止まります。

注
●親機とモニター増設機の表示は「警報」のみです。発生した警報を区別することはできません。
●異常が復旧するまで情報ランプ（親機）、警報ランプ（増設機）、および子器の警報表示灯は点滅しますが、各機器の警報音と画面の「警報」表示は最大約2分で止まります。
●警報停止ボタンを押してもアラームユニットまたは移報接点付の住宅用火災警報器の警報音は止まりません。

メモ
●アラームユニットなどの警報が復旧すると、親機・増設機・子器の警報音と情報ランプ、警報ランプ、および警報表示灯の点滅は止まります。
●警報音鳴動中は呼出および通話はできません。
●子器から警報表示させるには、親機で設定が必要です。出荷時の設定条件では、アラームユニットなどが動作しても子器は警報表示しません。
表示させるには設定マニュアルを参照するか、施工店に連絡してください。

●連絡(コール)用押釦が押されると

連絡(コール)用押釦が接続されている場合のみ（施工設定が必要）

●連絡(コール)用押釦が押されて呼出があることを玄関番でお知らせします。

1 連絡(コール)用押釦が押されたら

2 親機・増設機などで呼出をお知らせ

●20秒間、呼出音「プップップー」が鳴り、コール画像を表示し、親機の情報ランプが赤色点滅します。

●警報停止を押すと呼出音が止まります。

注

●押釦を押してから約20秒間を超えて押釦を押し続けている間は、呼出音が鳴り、コール画像を表示します。
ただし、最大約2分で呼出音・コール画像とも止まります。

●親機の情報ランプは押釦が復旧するまで点滅します。

メモ

●子器からの呼出中または通話中でも連絡(コール)用押釦が押されると、呼出音「プップップー」が鳴り、コール画像が表示され、子器からの呼出や通話は終了します。

●情報ランプが点滅しているときは

●親機の情報ランプが点滅しているときに親機のメニュー・情報ボタンを押すと、「お知らせ画面」で警報や呼出が発生していること、または住宅用火災警報器(連動型)(警報音・音声警報機能付)の異常を確認できます。

親機

1 **情報ランプが赤色点滅しているときに(親機)**

2 メニュー・情報 ◯**(親機)を押す**

●住宅用火災警報器(連動型)(警報音・音声警報機能付)の故障や点検時期、または発生していた警報や呼出を画面でお知らせします。
●画面は約30秒後に消えます。

メモ

●必ず親機で時刻設定をしてください。☞13・14ページ参照
時刻を設定していないと、警報器の点検時期をお知らせ(6ヵ月に1回)できません。
●移報接点付の住宅用火災警報器を使用している場合、「故障」や「点検」画面は表示できません。
●「警報」や「コール画像」を表示しても、警報音や呼出音は鳴りません。
●お知らせ画面が複数ある場合は、下記の優先順位に基づいて表示され、すべてのお知らせ画面を表示した後、メニュー画面を表示します。
優先順位:①警報画面 ②コール画面 ③故障画面 ④点検画面

警報が発生していた場合

留守 再生 録画 メニュー・情報 情報

●確認を押すと「メニュー操作を行いますか?」と表示されます。
●いいえを押して画面を消してください。
(メニュー操作を行う場合ははいを選択してください。)
●警報内容を確認して、適切な処置をしてください。
●アラームユニットなどの警報が復旧すると、情報ランプは消灯します。

コール(連絡)が発生していた場合

留守 再生 録画 メニュー・情報 情報

●確認を押すと「メニュー操作を行いますか?」と表示されます。
●いいえを押して画面を消してください。
(メニュー操作を行う場合ははいを選択してください。)
●呼出内容を確認して、適切な処置をしてください。
●押釦が復旧すると、情報ランプは消灯します。

住宅用火災警報器(連動型)(警報音・音声警報機能付)の故障時

故障

火災警報器で
故障が発生しました
確認してください

確認

留守 再生 録画 メニュー・情報 情報

●確認を押すと「メニュー操作を行いますか?」と表示されます。
●いいえを押して画面を消してください。
(メニュー操作を行う場合ははいを選択してください。)
●警報器の状態を確認して、処置をしてください。
●警報器の故障が復旧すると、情報ランプは消灯します。

住宅用火災警報器(連動型)(警報音・音声警報機能付)の点検時

点検

火災警報器の
点検時期がきました
確認してください

確認

留守 再生 録画 メニュー・情報 情報

●確認を押すと、42ページの手順4の画面になります。
42ページにしたがって、点検を行ってください。
●確認を押すと、情報ランプは消灯します。

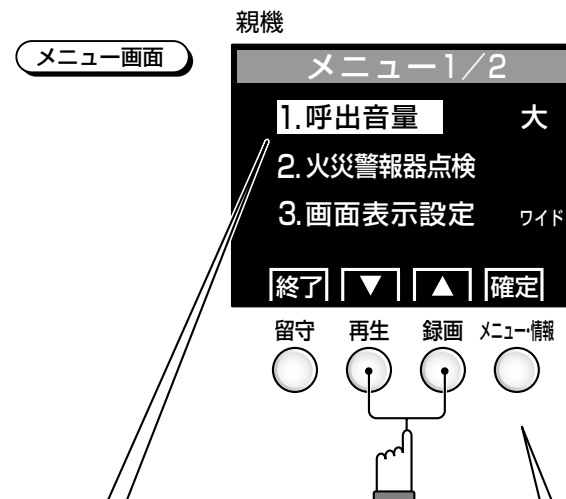
●メニュー設定について

●使用状況に合わせてより快適にお使いになるため、親機のメニュー・情報ボタンを押して設定できる項目があります。状況に応じて設定してください。

〔親機〕

設定項目	設定内容	出荷時設定	ページ
1.呼　出　音　量	呼出音(子器呼出・コール呼出)の音量を変更します。	大	➡41ページ
2.火災警報器点検	住宅用火災警報器(連動型)(警報音・音声警報機能付)の一斉点検を行います。 注 ●正常に動作することを確認するために、6ヵ月に1回以上定期点検を行ってください。 ●点検中は呼出および通話はできません。 ●移報接点付の住宅用火災警報器を使用している場合は、点検できません。 ●施工設定で「外部入力設定」を「連動火災警報器：あり」に設定していないと、選択できません。	——	➡42ページ
3.画面表示設定	子器の映像を映し出した際の画面表示(ワイドまたはズーム)を設定します。	ワイド	➡43ページ
4.録画画面消去	録画した画面をすべて消去することができます。 注 保存している録画画面も消去されます。	——	➡44ページ
5.ズーム位置設定	ズーム画像を映し出した際の表示位置を設定します。	中央最上段	➡45ページ
6.時　刻　設　定	日付時刻を設定することができます。	2007年1月1日 0時0分	➡13ページ

設定画面の操作について

設定項目や内容を選択すると…

メニュー画面

●「黄表示」で、選択している項目や内容を表示します。
●選択できない項目は[　　　]表示になります。

■各ボタンの役割

▼ 1つ下の項目を選択します。

▲ 1つ上の項目を選択します。

確定 選択を確定します。

戻る 1つ前の画面に戻ります。

終了 メニュー画面が消えます。

メニュー・情報ボタンを3秒以上押し続けないでください。3秒以上長押しすると、「施工設定」画面が表示されます。
正常に動作しなくなるおそれがありますので、施工設定は変更しないでください。

●メニュー設定について（つづき）

1.呼出音量

●呼出音量を設定します。

1 メニュー・情報 ◯を押す
●メニュー画面に変わります。

2 確定 を押す
●呼出音量画面に変わります。

3 音量「大/中/小」を選択する
●選択するたびに設定した音量で「ピンポン」音が鳴ります。

4 確定 を押す
●メニュー画面に変わります。

5 設定が終われば 終了 を押す
●モニター画面が消えます。(待機状態)
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

メモ
●モニター増設機の場合は表面の呼出音量切替・明るさ切替ボタンを押す、あるいは通話増設機の場合は底面の呼出音量切替ボタンを押して、呼出音を3段階で切り替えることができます。

2.火災警報器点検（住宅用火災警報器(連動型)が接続されているときのみ）

●住宅用火災警報器(連動型)(警報音・音声警報機能付)の一斉点検ができます。
●点検する前に、警報器が警報動作中や警報音停止中でないことを確認してください。

注 施工設定で「外部入力設定」が設定されていないと、「火災警報器点検」は選択できません。設定マニュアルを参照するか、施工店へ連絡してください。

1 メニュー・情報 ◯を押す
●メニュー画面に変わります。

2 ▼ を1回押す
●「2.火災警報器点検」を選択します。

3 確定 を押す
●点検確認画面に変わります。

4 確定 を押す
●点検実施画面に変わります。

5 鳴動 を押す
●点検中画面に変わります。
●各警報器が「ピッ、正常です。」と鳴動するのを確認してください。
●「ピッピッピッ、故障です。」が鳴る、または音が鳴動しない場合は、施工店にご連絡ください。

6 1分間鳴動すると…
●メニュー画面に変わります。
●途中で確認を終了するには 停止 を押してください。

7 点検が終われば 終了 を押す
●モニター画面が消えます。(待機状態)
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

3.画面表示設定

●子器の映像を映し出した際の画面表示（ワイドまたはズーム）を設定します。

1 メニュー·情報 ◯ **を押す**
●メニュー画面に変わります。

2 [▼] **を2回押す**
●「3.画面表示設定」を選択します。

3 [確定] **を押す**
●画面表示設定画面に変わります。

4 **「ワイド/ズーム」を選択する**

5 [確定] **を押す**
●メニュー画面に変わります。

6 **設定が終われば [終了] を押す**
●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

4.録画画面消去

●録画画面を全消去します。保存している録画画面も消去されます。

3

メニュー2/2
4.録画画面消去
5.ズーム位置設定
6.時刻設定

録画画面消去画面

1 メニュー·情報 ◯ **を押す**
●メニュー画面に変わります。

2 [▼] **を3回押す**
●メニュー2/2画面の「4.録画画面消去」を選択します。

3 [確定] **を押す**
●録画画面消去画面に変わります。

4 **「はい/いいえ」を選択する**

5 [確定] **を押す**
●「はい」を選択すると、「消去中」および「全ての画面を消去しました」が表示されれます。

6 **約5秒後、メニュー画面に戻る**

7 **設定が終われば [終了] を押す**
●モニター画面が消えます。（待機状態）
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

5.ズーム位置設定

●ズーム画像を映し出した際の表示位置を設定します。

1 メニュー・情報 ◯ **を押す**

●メニュー画面に変わります。

2 **[▼] を4回押す**

●メニュー2/2画面の「5.ズーム位置設定」を選択します。

3 **[確定] を押す**

●上下位置設定画面に変わります。

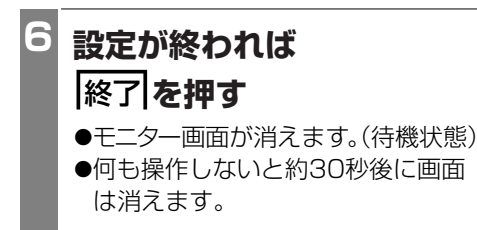
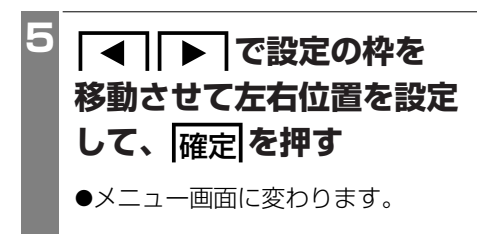
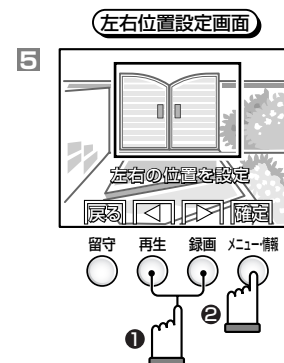
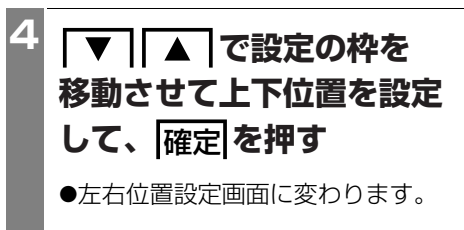
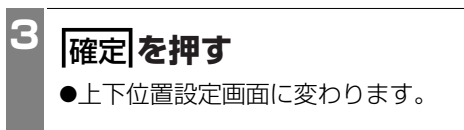
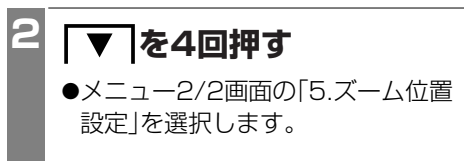
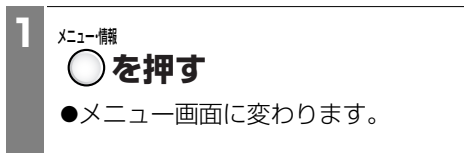
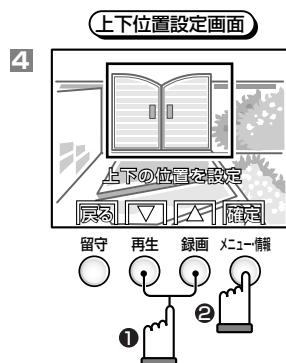
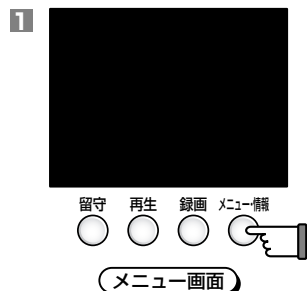
4 **[▼] [▲] で設定の枠を移動させて上下位置を設定して、[確定] を押す**

●左右位置設定画面に変わります。

5 **[◀] [▶] で設定の枠を移動させて左右位置を設定して、[確定] を押す**

●メニュー画面に変わります。

6 **設定が終われば [終了] を押す**

●モニター画面が消えます。(待機状態)
●何も操作しないと約30秒後に画面は消えます。

●故障かな？と思われたら〔異常時の点検〕

修理・サービスを依頼される前に、次の点検をしてください。

状　態	点　検
全く動作しない	ブレーカーが切れていませんか？ 電源スイッチが「切」側になっていませんか？
映像がはっきりしない	明るさの設定（7段階）は適切ですか？（17ページ参照） 子器のカメラ部がくもっていませんか？ （くもりが取れるまで、しばらく放置してください。） 子器のカメラ部、および親機、モニター増設機のモニター画面の保護シートは、はがしてありますか？
画面が見えにくい	子器の周囲が暗くなっていませんか？（故障ではありません。）
画面に黒い点が映る	太陽や反射光など、目にまぶしい光が映ると、黒い点になって映し出されますが、故障ではありません。 （周囲が暗くなると、黒い点はなくなります。）
呼出音量が小さい	呼出音量の設定が「小または中」の設定になっていませんか？（41ページ参照）
●通話がとぎれる ●相手の声が聞こえない ●自分の声が相手に伝わらない ●通話に雑音が入る	親機・増設機・子器のまわりで大きな音が出ていませんか？ （故障ではありません。まわりの音が大きく騒がしいとき、音声がとぎれることがあります。17ページの「子器側の騒音が大きく、室内の声が伝わらない場合は…」を参照して、通話してください。）
録画データ再生時に黒い画面が映し出される	子器設定が間違っていませんか？ （施工店へ連絡、または付属の設定マニュアルの「子器設定」を確認してください。） 近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがありませんか？（下記参照）
●録画画面が乱れている ●録画されていない	近くに高出力の無線局や強い磁気を発生するものなどがありませんか？ （故障ではありません。強い電波の影響を受けると、画面が乱れたり、乱れた映像や黒い映像を録画したり、または録画されない場合があります。）
玄関番から住宅用火災警報器の警報音が止められない	移報接点付の住宅用火災警報器を使用していませんか？

住宅用火災警報器（連動型）（警報音・音声警報機能付）で異常が発生したら、状況を確認し、適切に処置してください。

状　態	点検・処置
住宅用火災警報器から故障警報音が鳴る 故障警報音： 「ピッピッピッ、故障です。」（音声）を3回くり返した後、約40秒おきに「ピッピッピッ」（警報音）が鳴る。 （以上の音声と警報音の鳴動を約1時間ごとにくり返す。）	住宅用火災警報器が故障しています。 施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、すみやかに住宅用火災警報器を交換してください。 （住宅用火災警報器の警報動作の詳細は、住宅用火災警報器の説明書を参照してください。）
住宅用火災警報器から連動信号線異常音が鳴る 連動信号線異常音： 「ピッピッピッ」が約8秒おきに鳴る。	住宅用火災警報器の配線が短絡、または玄関番が故障しています。 施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、配線などを確認してください。
玄関番から住宅用火災警報器の点検をしたときに「ピッピッピッ、故障です。」と鳴動する、または何も鳴動しない	住宅用火災警報器が故障、または住宅用火災警報器の配線が断線しています。 施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、すみやかに住宅用火災警報器を交換する、または配線などを確認してください。
住宅用火災警報器の動作時、玄関番から警報音が鳴らない 玄関番の警報音： 「ピーポー（6回鳴動）、火災警報器が作動しました。確認してください。」が鳴る。	住宅用火災警報器の配線が断線、または玄関番が故障しています。 施工店、またはお客様ご相談窓口にご連絡いただき、配線などを確認してください。

●故障かな？と思われたら（つづき）

メッセージが表示されたときの対処方法

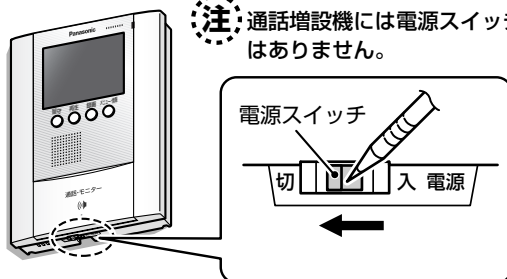
状　態	点　検
録画できません 留守設定を 解除してください	留守設定を解除してください。
時刻設定してください	時刻を設定してください。（13ページ参照）

故障と思われる場合には……

点検しても故障かな？と思われる場合は、親機・モニター増設機の電源スイッチを「切」側にし、施工店へ連絡してください。

●先の細いもので電源スイッチを「切」側にする

注 通話増設機には電源スイッチはありません。

仕　様

カラー玄関番スリム1型親機（露出型）（録画機能付）（WQD211W）

項目	仕様
電源電圧	AC100V　50／60Hz
消費電力	動作時：8.5W　待機時：1W
通話方式	音声自動切替方式
画面	3.5型カラーTFT液晶
ケースの材質	カバー：難燃性ABS樹脂・難燃性ポリカーボネート ベース：難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	0℃～+40℃
寸法	高さ：約180mm　幅：約134mm 奥行：約　28mm
質量	約420g（取付金具も含む）

カラー玄関番スリム1型モニター増設機（露出型）（WQD206W）

項目	仕様
電源電圧	AC100V　50／60Hz
消費電力	動作時：3W　待機時：1W
通話方式	音声自動切替方式
画面	3.5型カラーTFT液晶
ケースの材質	カバー：難燃性ABS樹脂・難燃性ポリカーボネート ベース：難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	0℃～+40℃
寸法	高さ：約180mm　幅：約134mm 奥行：約　28mm
質量	約410g（取付金具も含む）

カラー玄関番スリム1型通話増設機（露出型）（WQD207W）

項目	仕様
電源電圧	AC100V　50／60Hz
消費電力	動作時：2W　待機時：1W
通話方式	音声自動切替方式
ケースの材質	カバー：難燃性ABS樹脂 ベース：難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	0℃～+40℃
寸法	高さ：約180mm　幅：約116mm 奥行：約　32mm
質量	約340g（取付金具も含む）

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出薄型）（警報表示付）（カラー玄関番1型セット専用品）（グレイッシュブラウン）（WQD001A）

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出薄型）（警報表示付）

WQD852B（オフブラック）
WQD852S（シルバー）
WQD852Y（シャンパンブロンズ）

項目	仕様
電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	220mA
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
ケースの材質	難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	－10℃～+50℃
寸法	高さ：約150mm　幅：約110mm 奥行：約23mm（カメラ部除く：約18.5mm）
質量	約260g（取付金具も含む）

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出型）（警報表示付）（カラー玄関番1型セット専用品）（グレイッシュブラウン）（WQD011A）

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出型）（警報表示付）

WQD872B（オフブラック）

項目	仕様
電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	220mA
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
ケースの材質	難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	－10℃～+50℃
寸法	高さ：約128mm　幅：約96mm 奥行：約29.5mm（カメラ部除く：約25mm）
質量	約170g

仕　様

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（露出薄型・金属プレート）（警報表示付）

WQD862B（ブラック）
WQD862Y（シャンパンブロンズ）

項目	仕様
電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	220mA
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
ケースの材質	本　　体：難燃性ABS樹脂 金属プレート：アルミダイカスト
使用周囲温度	－10℃～＋50℃
寸　法	高さ：約162mm　幅：約120mm 奥行：約23mm（カメラ部除く：約20.5mm）
質　量	約390g（取付金具も含む）

カラーカメラ付ドアホン子器（露出型）（警報表示付）

WQD802A（グレイッシュブラウン）

項目	仕様
電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	170mA
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
ケースの材質	難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	－10℃～＋50℃
寸　法	高さ：約128mm　幅：約96mm 奥行：約36mm
質　量	約210g

カラーカメラ付ドアホン子器（広角）（FFシリーズ）（警報表示付）（ブラック）

WQD827B（横型）
WQD828B（縦型）

項目	仕様
電源電圧	DC17V（親機より供給）
消費電流	220mA
撮像素子	CMOS型固体撮像素子
最低被写体照度	約1ルクス（近赤外線発光素子点灯による）
ケースの材質	難燃性ABS樹脂
使用周囲温度	－10℃～＋50℃
寸　法	**WQD827B** 高さ：約92mm　幅：約184mm 奥行：約59mm（カメラ部除く：約54mm） （商品取付時、壁面より約15mm） **WQD828B** 高さ：約184mm　幅：約92mm 奥行：約59mm（カメラ部除く：約54mm） （商品取付時、壁面より約15mm）
質　量	約260g

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談センター」へ！
- 使い方・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、このカラー玄関番スリム1型の補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

47～49ページの「故障かな？と思われたら」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源スイッチを「切」側にして、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

- 技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	カラー玄関番スリム1型	お買い上げ日	年　　月　　日
品　　番		故障の状況	できるだけ具体的に

便 利 メ モ （おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	
販売店名	電話（　　）　ー		
お客様ご相談窓口	電話（　　）　ー		

パナソニック電工株式会社 HA・セキュリティ事業部
〒514-8555 三重県津市藤方1668
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2008-2009

〈無料修理規定〉

1.取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼になれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
（ハ）この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
2.ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
3.ご贈答品などで本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お客様ご相談窓口にご相談ください。
4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ニ）一般家庭用以外に使用された場合の故障及び損傷
（ホ）本書のご提示がない場合
（へ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（ト）離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
5.本書は日本国内においてのみ有効です。
6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7.お客様ご相談窓口は、別紙パナソニック電工お客様ご相談窓口のご案内をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.